

(1) 地域団体等へのヒアリング

分類	子育てを行う上での地域の魅力	子育てを行う上での地域の問題点	魅力の活用策及び問題点の改善策
1.育 児	<ul style="list-style-type: none"> 子育てガイドは各施設で配布されておりよく目にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者ばかりが取り上げられ子育て世代は取り残されていると感じる。 未就園児を持つ親の中には悩みを抱えている人も多い。 児童センターなど未就園児を連れていくところが近くにない。 福祉施設が有効に使われておらず未就園児には使いにくく居辛い場所だった。 子育てに関わる情報を収集するのが難しい。 子育てねっとのことを知らない人が多く市の HP も見にくい。 忙しい親は紙媒体のガイドをゆっくり読むことができない。 施設の写真や場所の情報が少なく行きたくなるような情報が載っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもにやさしい地域にしてほしい。 絵本の読み聞かせや手遊びできるような場所がほしい。 スマホで確認できる子育て情報のまとめサイトのようなものがほしい。
2.子育て		<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センターは小学生になると利用できず小学校は放課後開放しているが未就学児は使用できないため一緒に連れていける場所がない。利用対象者を広げたら広げたで子どもを放置する親もいるので問題が生じる気がする。 わくわく広場を利用するには一旦帰宅する必要がある校区の端だと利用しにくい。 この地域では子どもと一緒に遊ぶ親が少なく公園に大人がほとんどいない。 子どもに手が回らない家庭が多く放課後に居場所がない子どもがいる。 ボール遊びできる場所がなく家の近くで気を使いながら遊んでいる。 遊ぶ場所がないため学校が終わると家で遊んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センターを利用し易い環境を整えてほしい。 子どもが放課後に遊べる場所がほしい。 大人と子どもと一緒に遊べる環境がほしい。 地域で子どもを見守るには何をしたら良いか考えたい。
3.教育	<ul style="list-style-type: none"> 小学校は 1 学年 1 クラスの単学級が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校は 1 学年の人数が少ないため子どもの人間関係の逃げ場がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 単学級を活かして教育のブランド化に取り組んでほしい。 放課後の学習機会に差が生じないような対策をしてほしい。
4.道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> 平地で坂道がないため自転車での移動が比較的楽である。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩道が狭く段差が多く傾きがあるためベビーカーが車道へ転がって危険である。 車の往来が激しく歩道が狭いため子供が自転車に乗るには心配である。 駐車場が少ない。 駅までが遠く駅までのアクセスが悪い。 セッピー号はベビーカーで乗車しにくくルートも不便である。 子育て支援センターに行きたくても交通手段がなく困っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の整備をしてほしい。 工場が休みの日に軒下パーキングとして市民が利用できるようにしてほしい。 セッピー号を利用し易くしてほしい。 子育て支援センターまで行く交通手段がほしい。
5.公共施設	<ul style="list-style-type: none"> 大きな公園にはトイレがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 市の施設は営利目的と思われる活動に対する制限が多く使いづらい。 公園が不足している校区があり自治会長が鍵をかけていて使えない公園もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動がし易い場所がほしい。 淀川の堤防をきれいにしてほしい。
6.賑い・コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> 地域を盛り上げようとイベントを開く人や問題意識を持ったママさんなどやる気のあるママさんが多い。 子沢山な家庭が多い。 コロナ前はとりかい白鷺園の駐車場が青空市や子ども食堂や行われていた。 	<ul style="list-style-type: none"> お茶ができるカフェやファミリーレストランがない。 自治会の未加入世帯が多く地域との関わりが希薄になっている。 賃貸に住む家庭では、子どもが小学校に上がるころに転居することが多い。 ボランティア活動には限界があり人とお金が回ってこそ地域が活性化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 鳥飼マルシェを早く復活させたい（現在はコロナで休止中）。 近くの事業所で働いている人と交流がしたい。
7.防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> 公園周辺に路上駐車している車があり怖い。 	<ul style="list-style-type: none"> 所有者不明の低未利用地がある。 手入れが行き届かず空き家問題に発展しそうな高齢者の独居住宅がある。 近所の事業所で働いている人がどんな人か分からないので怖い。 	<ul style="list-style-type: none"> 所有者不明の土地や空き家の対策を行ってほしい。 近くの事業所がどんな工場でどんな人が働いているか知りたい。
8.企 業	<ul style="list-style-type: none"> 楽天市場で大人気の餃子屋さんがある。（4 年連続楽天市場グルメ大賞） 地域のイベントで袋詰め B 級品の野菜を安価で販売してくれる企業がある。 トラックで魚介類を移動販売し注文すると家まで届けてくれる企業がある。 安価でおいしいパンを販売し地域に還元してくれる製パン工場がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 鉄工所内の空きスペースを有効活用できないかという話を持ちかけられたことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> たくさんの工場が立地しているので「ものづくりのまち摂津」のようなキャッチフレーズで他市にアピールしてはどうか。 新幹線基地や工場・銘木団地等で子ども向けに仕事体験できる機会がほしい。 企業側の空きスペース活用意向を市で取りまとめて使えるようにしてはどうか。
9.農 業	<ul style="list-style-type: none"> 田んぼが多い。 近所の農地と提携して小学校で田植え等の農業体験ができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 遊休農地を活用して泥んこ遊びや田植え体験等のイベントを開催してほしい。 高齢になり持て余している田畑を若い人の手で活用できるようにしてほしい。
10.情報発信	<ul style="list-style-type: none"> シール貼りのボランティアをすると冷凍エビがもらえる海産物の工場や、廃棄になるお菓子の食べ放題ができる菓子卸販売の事業所など面白い取り組みをしている企業がある。大々的に宣伝しておらず口コミを中心に情報が広がっているので知らない人が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 鳥飼地域に関する情報が不足している。 地元よりも近隣市の情報の方が容易に入るため市外に出かけがちである。 地域の良い所や地域のイベント・子育ての情報をまとめて発信する媒体がない。 事業所が多いため求人はいくつかあるが派遣会社があるためわざわざ赴いて問い合わせや面接を受けないといけない。 	<ul style="list-style-type: none"> 他市のように Facebook や Twitter・Instagram のような身近でリアルタイムな媒体で情報を発信してほしい。 「号外 NET」のような民間媒体と行政が連携して情報発信をしてほしい。 市がフォーマットを作り求人募集情報を記入して事業所前に張り出せば住民の目に留まり雇用につながり易い。住民を雇えば交通費がかからないというメリットがあり働く側も市と連携している事業所ということで安心感が得られる。

(2) 地元懇談会

項目		第二中学校区(鳥飼西小学校区・鳥飼北小学校区)参加者	第五中学校区(鳥飼小学校区・鳥飼東小学校区)参加者
地域の魅力		<ul style="list-style-type: none"> 近くに淀川がある(河川敷や堤防を利用できる、散歩やジョギング・BBQ・イベントで利用している人が多い・自然を感じられる) 車で移動が便利(近畿道のICが近く名神にも繋がっている、運送業や倉庫業にとっては利便性が高い) 買い物に便利である(徒歩や自転車で行ける範囲に店がある、日用品を取り扱う店が多く生活に困らない) 新幹線を身近に感じられる(基地や公園が近い) 働く場所が多い(事業所や工場が多い) モノレールの駅が近い 	<ul style="list-style-type: none"> 淀川沿いの活用(イベント、ウォーキング、ランニング、サイクリング) 身近な商業施設が多い(ディスカウントストア、ホルダリング) 藤森神社の秋祭り(地元の絆が強い、新旧住民の仲が良い) 新幹線公園の桜 小学校で近隣の農地を借り農業体験をしている 職場が近く、通勤時間が短縮される 高い建物がない街並み 大きな公園が多い(新幹線公園、淀川河川敷) 安威川(番田井路)付近で桜を植樹している 地価が安く戸建てが買える
少子化・教育・人口減少	問題点等	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが少ない 買い物などの利便性に課題がある 昼間人口の多さを定住人口に活かせていない 子どもたちの故郷として、魅力がない 学力が低い 人口減少が進行すると、将来的には小中学校の廃校が進み、バス等の公共サービスや公共施設の運営が先細る可能性がある。また、住民同士の関わりが減り、助け合いができなくなるだけでなく、治安も悪化するおそれがある 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが少なく、PTA 役員のなり手がいない。仕事を抱えながら PTA 役員を務めることに物凄い負担感 子どもが通える範囲内に子育て拠点施設がなく、利用できない 子ども数が減り、少人数学級が実現されたことがメリットのように語られるが、実際はその真逆。生徒数により先生の数が決まるため、結果として先生の目が行き届かず、学校が荒れる。学校行事も複数の学年をまとめて行うことになり、感動もわかない
	改善策等	<ul style="list-style-type: none"> 人口を増やすための施策が必要 →生活利便施設、大学キャンパス等の誘致 子育て世代に訴求した目玉となる様な取組が必要 →小中一貫校の整備等 SDGs の観点からの持続可能なまちづくりの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 知育・徳育・体育の三育をはじめとした人間力育成 短期・中期・長期という時間軸を意識し、小学校の集約化を検討することも必要 何故人口流出が止まらないのか、その原因究明 児童数の適正規模を確保 鳥飼地域を学園都市として、超エリート校を誘致
高齢化等	問題点等	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の移動手段が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 免許証を返納した高齢者が日々の生活に難儀
	改善策等	<ul style="list-style-type: none"> バスにかわる、小回りの利く公共交通の運行 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の足の確保
交通	問題点等	<ul style="list-style-type: none"> 幹線道路の渋滞が深刻である(トラックが多いため) 生活道路にトラックが行き交っている(子供たちには危険、住宅地と工場地の混在しているため) コミュニティバスのルートが不便 	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道の延伸が実現せず、公共交通が不便 交通の便が悪く、自家用車を持たない人は不便 狭い道や起伏のある道、雑多な感じの箇所がある 道路が混む(大阪高槻線、茨木寝屋川線等) 裏道も混み、トラックも多く危険 セッピー号が不便 バスの本数が年々減少 バスは渋滞に巻き込まれ、定時性がない
	改善策等	<ul style="list-style-type: none"> 仁和寺大橋を無料化(渋滞している交通を分散) コミュニティバスルートや道路ネットワークの見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 学園都市として、学校の誘致等の実現による、鉄道延伸の実現 周辺市町村と協力した鉄道延伸
賑わい・コミュニティ	問題点等	<ul style="list-style-type: none"> お店や飲食店が少ない(人が集まれる(イベントができる)場や店がない) 地域コミュニティ活力の低下 淀川河川敷が地域の魅力でもある一方、淀川河川敷を有効活用出来ていない(駐車場が少ない、人の目が届かず危険) 鳥飼高校跡地が活用されていない 昼夜の人口比が大きい(従業員が工場・事業所に働きにくだけのまちになっている) 公園が少ない 自治会加入率の低下 地域イベントの周知不足 公民館が少なく偏りがある 	<ul style="list-style-type: none"> 祭りやイベントを実施するにあたっての、様々な制約や担い手の不足 自治会加入率の低下 大きな商業施設が遠い(車が必要) 南北問題(北ばかりが便利になっている) あまり使用されていない公園がある 医師も高齢なため診療時間の短縮や閉院が相次ぐ 転入してくる人もいるが、割とすぐ転出してしまう 鳥飼東小学校付近にはスーパーや病院がない 大通りに出ないとお店がない。歩いていても途中休憩できるような喫茶がない 工場というより倉庫ばかり立地している。日中の人口が多いというが、事業所の人はなかなか外に出てこないの、賑わっているという感じはない
	改善策等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の魅力向上に向けた取り組みが必要 →新幹線公園・淀川河川敷の利便性向上に向けた取り組み(駐車場やトイレ、BBQ 場整備等)・防災ステーションを活用したコミュニティの活性化 自治会組織や行事等の刷新 お年寄りが外へ出かけたい仕掛けづくり 市からの情報発信の拡充 淀川河川敷の広大な敷地を整備・有効活用 公民館をバランス良く配置 雨天時でもイベント開催が可能な場所の整備 空き地での公園整備 若者がコミュニティ活性化に向けた取り組みに関わっていくための仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館の利用規則を緩和 祭りやイベントに対する市の支援 子育て世帯に受け入れられる祭りやイベント 様々な団体が協力して、子育て世帯を主役とした取り組みを実施(子育てを終えた世帯が取り組みを提供・第一中学校区をモデルに次世代へ繋ぐ) 自治会加入促進条例の制定 淀川沿いにサイクリング、ランニングの休憩場を設置 新幹線公園の駐車場を設置 鳥飼東小学校付近にスーパーを誘致 散歩しやすいコースを整備(住民の他、小学校を通して子供にも参加させる) 集会所を開放して、高齢者が子どもの見守り
その他		<ul style="list-style-type: none"> 土地が低く水害が心配である(過去に浸水被害あり) 短期的な視点ではなく、長期的な視点をもって、まちづくりを進めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地盤が緩いため高い建物が建てられないと聞いたことがある。避難場所がない 安威川をはさんで中央市場が立地しているせいかカラスが多い。カラスに突かれた人もいる

(3) 住民意見等のまとめ

「1. 鳥飼地域の現況」、「2. 鳥飼地域の課題」をふまえ、鳥飼まちづくりランドデザインアンケート調査、地域団体等へのヒアリングや地元懇談会等を実施しました。地域住民の皆様のご意見をもとに鳥飼地域の魅力的なところ・大切にしたいところや問題点、まちづくりの考え方について整理しました。

(I) 鳥飼地域の魅力的なところ・大切にしたいところ

《地域の産業・名産》 <ul style="list-style-type: none">○他地域にない大阪銘木団地（銘木朝市）○伝統野菜の“鳥飼なす”	《自然・公園等について》 <ul style="list-style-type: none">○みんなの憩いの場になっている淀川河川公園・ウォーキング、ランニング、サイクリング・バーベキュー、日の出がきれい、野鳥など自然を感じることができる○鳥飼八町の田園風景○新幹線を身近に感じられる新幹線公園・桜がきれい・新幹線車両基地が近い・0系新幹線や電気機関車に触れることができる	《交通環境について》 <ul style="list-style-type: none">○近畿道のICが近くにあり、車での移動が便利・名神高速へ繋がっており、運送業や倉庫業にとって利便性が高い○社会福祉法人の巡回バスが、高齢者にとって便利○一部の地域ではモノレール駅が近い
《生活環境について》 <ul style="list-style-type: none">○身近な商業施設が多く、買い物に便利・ディスカウントストアや日用品を取り扱う店があり、生活に困らない。○本格的なボルダリングジム○働く場所（事業所や工場）が多い。職住近接。○ゲームセンターなどのたまり場がない。		《コミュニティ・イベント等について》 <ul style="list-style-type: none">○藤森神社の秋祭りなど地元のイベントが盛ん○わいわいガヤガヤ祭りや正月凧あげ大会等のイベント○鳥飼マルシェ in 藤森神社○セーフティパトロール等による子どもの見守り

(II) 鳥飼地域の問題点

《自然・公園等について》 <ul style="list-style-type: none">○淀川河川敷が有効活用できていない。○淀川河川敷の駐車場が少なく、イベント時に周辺道路が渋滞する。○新幹線公園は駐車場がなく、トイレも少ないため利用しづらい。○地域によっては公園が少ない。○あまり使われていない公園がある。	《少子高齢化について》 <ul style="list-style-type: none">○小学校の生徒や幼稚園利用者等の減少。○放課後に子供が集まれる場所が少ない。○近くに子育ての支援拠点が少ない。○高齢者の居場所（気軽に集まれる場所）が少ない。○高齢者の相談窓口の不足
《交通環境について》 <ul style="list-style-type: none">○幹線道路（大阪高槻線、茨木寝屋川線等）の渋滞が深刻。○幹線道路だけでなく裏道もトラックの往来が多いため危険。○コミュニティバス（セッピー号）のルートが不便。時間がかかる。○渋滞で路線バスが遅れることがある。○鉄道がなく、公共交通が不便。（バスの便数も少ない）○高齢者の移動手段が少ない。	《防災について》 <ul style="list-style-type: none">○土地が低く、水害が心配。洪水対策が脆弱。○災害時の避難場所が少ない。○道が狭く危険なところがある。
《コミュニティ・賑わいについて》 <ul style="list-style-type: none">○自治会の加入者が少ない。○祭りやイベント等にかかる担い手の不足○事業所や工場は多いが、日中は人が少なく賑わっていない。○人が集まれる店や施設が少ない。○空き地や空き家が増えている。	《生活環境について》 <ul style="list-style-type: none">○南摂津駅前に駅前の賑やかさが感じられない。○地域によっては食料品を扱うスーパーや病院が少ない。○大通り沿いに出ないとお店がない。歩いていても途中休憩できるような場所（喫茶店等）がない。○公民館が少なく偏りがある。○鳥飼高校の跡地が有効活用されていない。○大きな商業施設が遠い。（車が必要）
	《その他》 <ul style="list-style-type: none">○転入してくる人もいるが、割とすぐに転出してしまふ。○中学を卒業すると子どもたちは他地域へ行ってしまい、戻ってこない。○故郷としての魅力が不足している。

(III) 鳥飼地域のまちづくりの考え方

《少子高齢化への対応》 <ul style="list-style-type: none">○子育て世代に選ばれるような教育環境の形成○誰もが気軽に集まれる居場所の確保○子どもからお年寄りまでみんなにやさしい福祉環境の充実
《交通環境の改善》 <ul style="list-style-type: none">○鉄軌道へのアクセス向上○路線バスのルート改善及び定時性確保○幹線道路（大阪高槻線、茨木寝屋川線等）の渋滞解消○歩行者の安全性向上
《地域防災力の向上》 <ul style="list-style-type: none">○災害時における避難場所の確保○災害（特に洪水）に強いまちづくりの推進○狭あい道路の解消
《コミュニティの形成》 <ul style="list-style-type: none">○新たな地域活動の担い手の確保（祭やイベント等を含む）○誰もが集うことのできる施設の充実○住民ニーズをふまえた、老朽化した公共施設の集約・機能更新○鳥飼に対する郷土愛の醸成
《にぎわいの創出》 <ul style="list-style-type: none">○空き家・空き店舗の有効活用による賑わい創出○淀川河川敷、安威川周辺、新幹線公園、公園等の有効活用・魅力向上○南摂津駅周辺の賑わい創出○住民と働く人（企業・事業所）との交流促進

